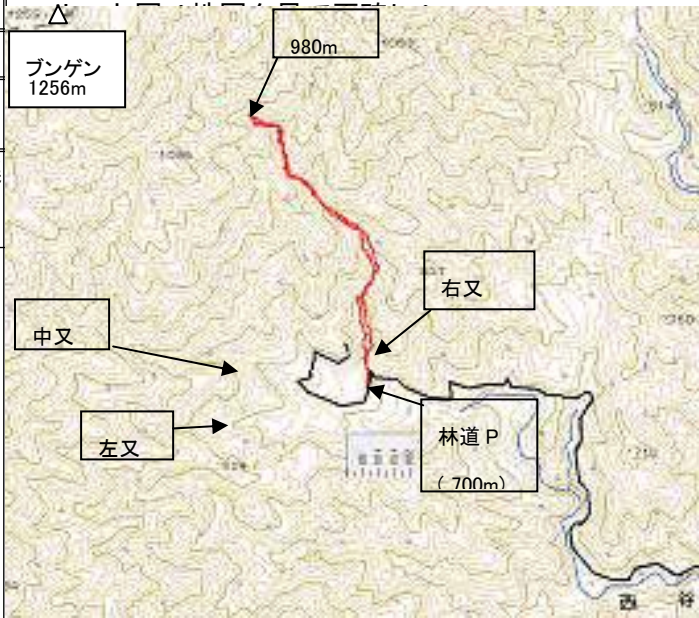


10月度 <small>例会</small> 山行報告書 <small>個人</small>		報告者	神戸	参加 メンバー	CL: 亀山、SL: 中山、 郡谷、神戸
		報告日	11/9		
山域	奥美濃	山行日	2011/10/09(日)		
山名	ブンゲン(射能山)				

山行目的	沢登りを楽しむ(チャリティー)	コースタイム(天候: 天気図記号)
------	-----------------	-------------------

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙: 集会担当者



10/9 晴, 行動4時間50分
7:20 西谷川林道(標高約700m) 右又の登山口入口発
7:50 一本
8:45 一本
9:10-10:10 樋状斜滝(50m以上)にて、ロープを使っての遡行と、エイト環での下降練習、(標高980m)ここで折り返し
10:55-11:15 ラーメンタイム
12:10 登山口着
12:50-13:40 かがもりもり村入浴(400円)
15:30 本社東駐着 解散

西谷川源流の右又: 美東

山行報告 9/1の沢登り(雨中止)の代わりに亀山Lが再計画し、奥美濃ブンゲンの沢に行くことになった。社内登山の次の日の為か、残り参加はベテランの中山さんと私同様に沢登り初体験の郡谷さんだけであった。フェルト底シューズデビューだ。亀山Lは飛び石を飛ぶように軽快に進む。藪の枝をくぐったり岩を乗り越えたりで、私は普段使わない腕の筋肉を使った。やがて岩が階段状になった10m程度の滝に来ると、亀山Lは難しそうな滝のすぐ横の岩に張り付いて蜘蛛のように登っていき、完登してしまった。私たちは無難に高巻いて登る。その後「滑りやすい岩は足先でグリップを確かめて」と教わり、普通の靴ではすべりそうな所を何とか突破。二回ほど休憩した後に、この谷の核心部(とほかのHPで紹介されていた)樋状に幅50cmから1mの小滝が連続する場所でロープの練習をすることになった。プルージック(巻きつけて摩擦でとめる結び方)で確保しながら登るのだが、新人二人が持ってきたテープスリングはザイルと相性悪くすべり易かった。借りたスリングは今度はきつくて、滑らすのに両手使いになってしまった。下降はエイト環の使用方を亀山さんに教わる。一度教わっただけでまだまだ身についていない。下に着いてからは確保器(ATC)を通して確保の練習していた。中山さんはエイト環での懸垂下降は初めてでしきりと感心していた。その後は折り返し、今度は中山さんがトップになった。一時間程して亀山Lがエイト環でナメ滝を懸垂下降した所で、沢の水でチキンラーメンをつくる。山

でのラーメンはおいしい。登りで直登した場所も下りは巻いたりして、局面で道を探すのは難しいが中山さんはズンズン進む。郡谷さんも苦労しながらも順調に降りていき、全員無事帰ることができた。

(所感) 百名山行で幌尻やカムエクに地下足袋で歩いたことはあったが、あれは川渡りであった。今回の沢のぼりでは、地図を持っていったが歩くのに精一杯で役立たず。岩登り技術も必要だが、地形読み技術を身につけたいと感

リーダー所見 揖斐川支流、西谷川右又は明るくて滝の連続で、大好きな沢である。今回もメンバーと楽しい沢登が出来、しっかり楽しむことが出来ました。メンバーと好天に乾杯!



滝を完登してポーズ



樋状の滝でロープ練習

確認
(リーダー)
亀山
11/10/10

作成
(報告者)
神戸
11/10/10